

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年01月25日

計画の名称	京都市における下水道事業の推進（防災・安全）（その4）												
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	京都市												
計画の目標	下水道事業による防災・安全対策を推進し、安全・安心で快適な市民生活を安定的に支えるとともに、良好な水環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	21,160	A	21,120	B	0	C	40	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0.18	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R5当初)	中間目標値	最終目標値 (R9末)
1	下水道管路改築・地震対策率を、28.1%から44%に増加させる。 ①下水道管路改築・地震対策率（破損等のリスクが高い旧規格の管路の延長に対する対策済管路延長の割合） 対策済管路延長／破損等のリスクが高い旧規格の管路の延長	28%	%	44%
2	今後5年間（計画期間中）に31の処理施設を改築更新する。 ②処理施設の改築更新数 水環境保全センターにおいて、今後5年間（計画期間中）に機能低下が見込まれる31の施設のうち、改築更新を実施する施設数	0施設	施設	31施設

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="radio"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>	避難確保計画の策定	<input type="checkbox"/>	避難行動要支援者名簿の提供	<input type="checkbox"/>
京都市水共生プラン（流域水循環計画）に基づき実施される要素事業：A07-001、A07-002、A07-003、A07-004、A07-005、C07-001 京都市国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A07-001、A07-002、A07-003、A07-004、A07-005、C07-001																

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							R05	R06	R07	R08	R09				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	京都市	直接	京都市	—	改築	下水道総合地震対策事業	重要管路の耐震化	京都市	■	■	■	■	■	4,500	—	策定済	
	A07-002	下水道	一般	京都市	直接	京都市	終末処 理場	改築	下水道総合地震対策事業	塩素混和池（鳥羽水環境保全 センター）等	京都市	■	■	■	■	■	3,500	—	策定済	
	A07-003	下水道	一般	京都市	直接	京都市	終末処 理場	改築	下水道ストックマネジメ ント支援制度	流動炉（長寿命化）（鳥羽水 環境保全センター）等	京都市	■	■	■	■	■	8,300	—	策定済	
	A07-004	下水道	一般	京都市	直接	京都市	ポンプ 場	改築	下水道ストックマネジメ ント支援制度	監視制御設備（住吉ポンプ場 ）等	京都市		■	■	■	■	4,800	—	策定済	
	A07-005	下水道	一般	京都市	直接	個人	—	新設	新世代下水道支援事業	雨水貯留施設設置助成	京都市	■	■	■	■	■	20	—	—	
											小計							21,120		
											合計							21,120		

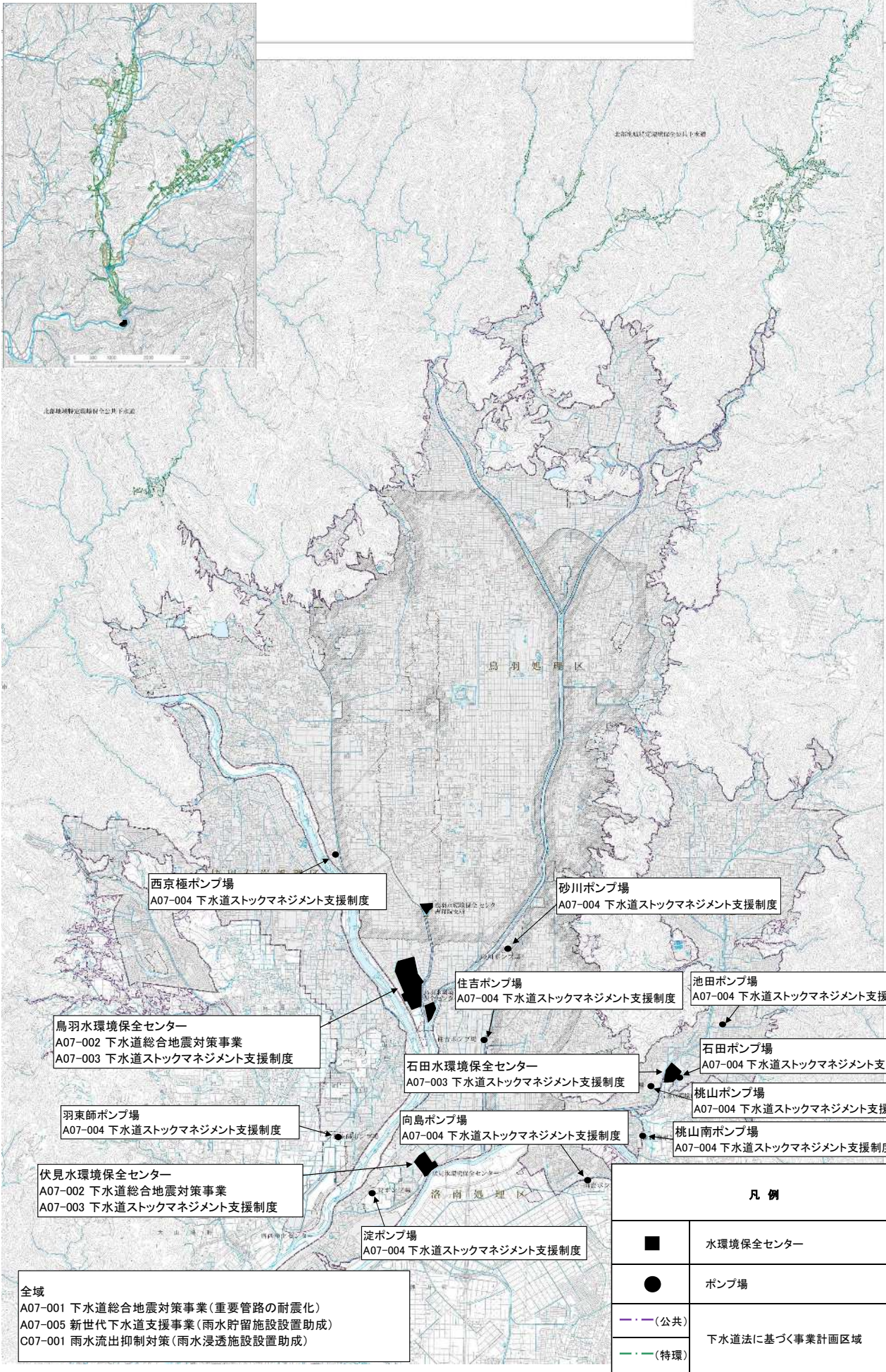
C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							R05	R06	R07	R08	R09			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	京都市	直接	個人	—	新設	雨水流出抑制対策	雨水浸透施設設置助成	京都市	■	■	■	■	■	40	—	—
		基幹事業（A07-005）と一体的に各戸における雨水流出抑制対策を行うことで、効率的に安全・安心な暮らしを実現する。																	
											小計						40		
											合計						40		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	1,601				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	1,601				
前年度からの繰越額 (d)	781				
支払済額 (e)	2,030				
翌年度繰越額 (f)	352				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					





凡例	
■	水環境保全センター
●	ポンプ場
--- (公共)	下水道法に基づく事業計画区域
— (特環)	

全域  
 A07-001 下水道総合地震対策事業(重要管路の耐震化)  
 A07-005 新世代下水道支援事業(雨水貯留施設設置助成)  
 C07-001 雨水流出抑制対策(雨水浸透施設設置助成)

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 京都市における下水道事業の推進（防災・安全）（その4）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針、上位計画と整合している。	○
I. 目標の妥当性 ②目標の内容 1) 安全・安心で快適な市民生活に寄与する計画である。	○
I. 目標の妥当性 ③目標の内容 2) 良好な水環境を創造する計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 効果促進事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 事業の効果の見込みが妥当なものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ④計画の具体性 1) 事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 ④計画の具体性 2) 関係機関等の理解が得られている。	○